

科目名 (科目番号)	解剖学実習 (時間割参照)	教員名 當銘 良也	学科等	臨床検査	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			授業形態	実験・実習	オフィスアワー	各担当教員シラバス参照	
授業概要	人体の器官、組織、細胞を人体模型・各臓器模型や人体を構成する正常細胞の組織学的ならびに電子顕微鏡学的構造と各細胞内小器官の機能を理解する。種々の細胞により構成される組織・臓器の正常構造と機能を光学顕微鏡観察を通じて理解し、正常な人体の構造と機能を教授する。						
目的・目標	目的: 人体の正常組織構造と機能を顕微鏡観察を通じて学習する。 目標: ①人体の正常組織構造と機能を顕微鏡観察を通じて理解し、観察技術を身につける。 ②病理検査に必要な組織学的構造や疾患を理解する。						
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	ブタの解剖	到達目標: 肺、胃、肝臓、小腸、大腸、腎臓、脾臓などの位置、形、色などを確認し人体臓器の理解を深める。 学習内容: 諸臓器の位置、形、色などを確認				
	2	顕微鏡実習1	到達目標: 表皮、乳腺、皮下感覚器の組織構築と機能を理解する。 学習内容: 皮膚およびその付属器の組織構築と機能				
	3	顕微鏡実習2	到達目標: 唾液腺、食道、胃の組織構築と機能を理解する。 学習内容: 唾液腺および上部消化管の組織構築と機能				
	4	顕微鏡実習3	到達目標: 小腸、大腸、肝臓、脾臓の組織構築と機能を理解する。 学習内容: 下部消化管と付属消化線の組織構築と機能				
	5	顕微鏡実習4	到達目標: 心臓、血管、胸腺、脾臓、リンパ節、骨、筋肉の組織構築と機能を理解する。 学習内容: 循環器、骨、筋肉の組織構築と機能				
	6	顕微鏡実習5	到達目標: 気管、肺、甲状腺、副腎、下垂体の組織構築と機能を理解する。 学習内容: 呼吸器、内分泌の組織構築と機能				
	7	顕微鏡実習6	到達目標: 腎臓、尿管、膀胱、精巣、前立腺、卵巣、卵管、子宮、胎盤の組織構築と機能を理解する。 学習内容: 泌尿器、生殖器の組織構築と機能				
	8	顕微鏡実習7	到達目標: 大脳、小脳、中脳、橋、延髄、脊髄、神経節の構造と機能を理解する。 学習内容: 神経系臓器の組織構築と機能				
成績評価の方法・基準	試験（70％） ＋ レポート（30％）（対面・オンライン共通）						
教科書	入門組織学 改訂2版		牛木辰男		南江堂		
参考図書	diFiore人体組織図譜原著第11版 カラーアトラス ひとの組織学		相磯貞和訳 梶ヶ谷博 熊谷祐子 松並平晋		南江堂 インターズ		
教員からのメッセージ	Googleclasroom資料、解剖学、組織学講義資料をしっかり復習して実習に臨むこと。 レポートはコメントを付して返却します。 病院で勤務した臨床検査技師がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。						